

資料編

Appendix

CONTENTS

錠前の性能について	986
錠前の主な材質の特徴と日常のお手入れについて	988
錠前のお手入れのお願い	990
代表的なシリンダーの交換方法	991
シリンダー・ケースの互換表	992

日本ロック工業会規格	994
CP 認定錠の防犯性能	1004
廃止製品一覧	1006
専用カタログのご案内	1008
自動施錠錠の選定方法	1009

錠前の性能について

■錠前の性能について

錠前に要求される耐久性能・強度性能において、美和ロックの錠前は3つのグレードに分けられます。
錠前を選定される際には使用される場所・使用頻度に応じて適したものをお選びください。

1. 耐久性能

	扉の開閉耐久	施解錠耐久	主な錠前
軽量級 (Light duty)	20万回	5万回	C70 (LG, MG)
普通級 (Standard duty)	40万回	10万回	C70 (LA, MA)、HM
重量級 (Heavy duty)	80万回	20万回	INTERFACE、GIGA、LH、MH、MM、HK、AM、AL

2. 強度性能

	ハンドルねじり強度 (Nm)		ハンドル垂直曲げ強度 (N)	ハンドル引張強度 (N)
	レバーハンドル	ノブ		
20型	20	15	1000	1500
40型	35	27	2000	2000
80型	35	27	2000	2500

■錠前の試験方法

試験は「JIS A 1510 錠の試験方法」に準拠して行っております。

1. 耐久性能

(1) 扉の開閉繰り返し試験

① 試験体のセット

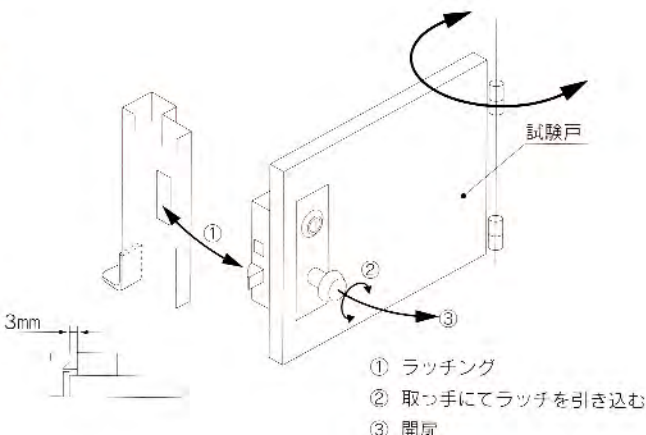
試験体を通常の取付方法に従って試験台に取付け、試験台を試験用ドアセットに取付ける。このとき試験体のフロントとストライクの隙間は約3mmとなるように調整する。

② 試験

ハンドルによる開扉とストライクによるラッチボルトのラッチング (閉扉) をもって1回とし、毎分10回程度の頻度で開閉繰り返しを行う。

③ 試験品目

- ラッチボルトの作動の異常の有無
- ラッチング力、ハンドルの操作力



(2) 施解錠繰り返し試験

① 試験体のセット

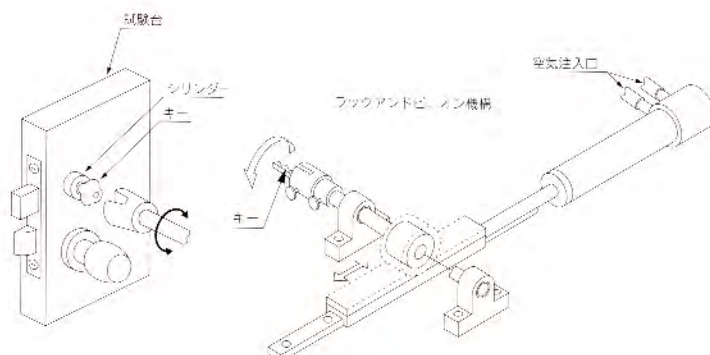
試験体を通常の取付方法に従って試験台に取付ける。

② 試験

施錠、解錠をもって1回とし、毎分10回程度の頻度でデッドボルトを作動させる。

③ 試験品目

- 施解錠の作動の異常の有無
- 施解錠に要する回転トルク



2. 強度性能

(1) ハンドルねじり強度試験

①試験体のセット

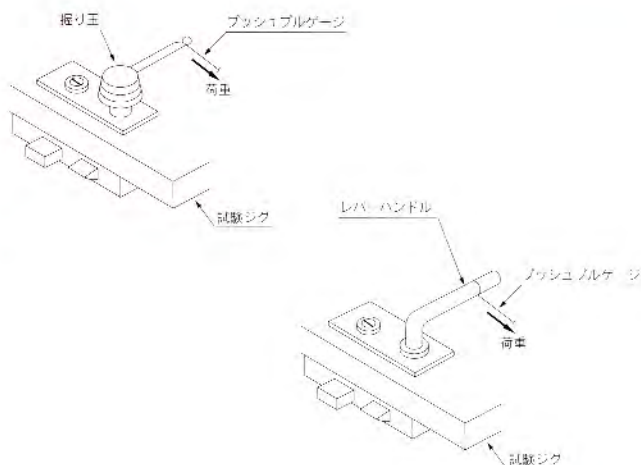
試験体を通常の取付方法に従って試験台に取付ける。

②試験

ハンドルに回転トルクを加え、所定のトルクを30秒間加える。

③試験品目

- ハンドルの変形および作動の異常の有無



(2) ハンドル垂直曲げ強度試験

①試験体のセット

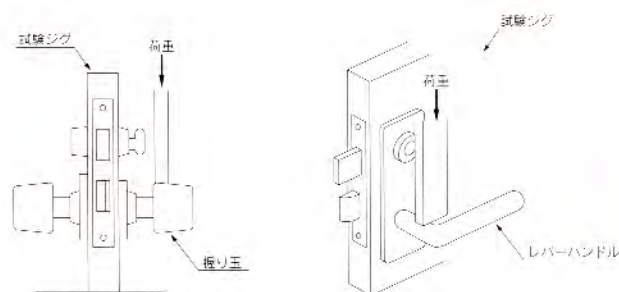
試験体を通常の取付方法に従って試験台に取付ける。

②試験

ハンドルの握り部幅1/2の軸心上に所定の垂直荷重を30秒間加える。

③試験品目

- ハンドルの変形および作動の異常の有無



錠前の
性能に
ついて

(3) ハンドル引張強度試験

①試験体のセット

試験体を通常の取付方法に従って試験台に取付ける。

②試験

【握玉の場合】

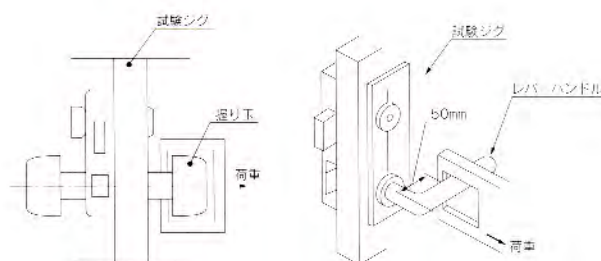
回転軸に引張荷重を30秒間加える。

【レバーハンドルの場合】

回転軸から50mmの位置に引張荷重を30秒間加える。

③試験品目

- ハンドルの変形および作動の異常の有無



■錠前を正しく動作させるために

錠前を正しく動作させて本来の性能を発揮させるため、建具について次の点をご留意いただきますようお願い申し上げます。

1. 扉の錠前取付部には補強を入れてください。

レバーハンドルの丸座のように扉の両側からビスを締付けて取付ける場合に扉の変形による錠前の不調を避けるためです。

2. 枠にはコンクリートボックスを設けてください。

枠に電気ストライクやスイッチストライクなどの電装品を取付ける場合にモルタルなどが侵入して誤動作の原因となるのを防ぐためのものです。

錠前の主な材質の特徴と日常のお手入れについて

ステンレス製品について

ステンレスは、鉄やアルミニウムに比べて、はるかに耐食性に優れ非常に錆びにくい金属です。ステンレスが「さび」にくいのは、含有されるクロムが酸素と結合して、地金の表面に100万分の数mmの厚さの強固で、緻密な不動態皮膜を形成し、この皮膜が「さび」を防ぐ働きをするためです。

従って、ステンレスの「さび」は「何らかの原因により不動態皮膜が破壊され、その再生が妨げられる」ときに発生します。しかし、腐食原因が除去され、クロムと酸素の結合が可能になれば、不動態皮膜は再生され、耐食機能を取り戻します。

ステンレスのさびの原因はさまざまですが、ほとんどの場合、空気中に浮遊する鉄粉や有害ガス中の成分付着、堆積、あるいは潮風に含まれている塩分の付着などがあげられます。これらの付着物が核となり、湿気が加わって固着し、ステンレス表面の不動態皮膜を傷つけ、またその再生を妨げているため、さびが発生します。

このほかに、それ自身は不動態皮膜は破壊しませんが、表面への酸素の供給を妨げたり、結露や上記物質の付着を促進するものとして、すすや粉塵、よごれなどのステンレス表面への堆積があげられます。

弊社のハンドル、シリンダー、フロント等の外装部品についてはステンレスの中でも耐食性に優れたSUS304を使用していますが、上記のようにステンレスといえども全く錆びないわけではなく、使い方や、使用場所によっては錆びることもあります。

しかしながら、さびの初期の段階なら、市販の台所用の清掃剤などを使えばさびは比較的簡単に除去でき、元通りの表面状態に戻ります。

アルミ製品について

アルミはステンレスと同様にその表面に緻密な不動態皮膜ができ、地金を腐食から守る働きをします。アルミの場合、不動態皮膜はステンレスほど強固なものではないため、アルミを建材として使用する場合には、アルマイトや塗装などの耐食性を高める処理をします。アルマイトとは、酸化皮膜を人工的に厚くし耐食性を上げる処理で、さらに酸化皮膜を着色することにより各種の色調を得ることができます。

アルミ製品の場合にもステンレス同様、有害ガス中の成分付着、堆積、塩分の付着、ススや粉塵、汚れなどの付着により、腐食が発生することがあります。また、アルカリ性の薬品（洗剤や、セメント、モルタルなど）を付着したままにしておくと、表面が白く脱色してしまうことがあります。

ステンレスと異なり、アルミの場合には、一度腐食や、脱色が発生してしまうと元通りの外観に戻すことができません。

黄銅製品について

黄銅は鉄のように錆びてボロボロに腐食することはありませんが、素材のままでは容易に酸化し、短期間に表面が黒く変色します。そのため、一般的には塗装をして変色を防止しています。しかし、塗装に傷がついたり、摩耗等により塗膜がなくなってしまった場合や、ステンレスやアルミの場合と同様に有害ガス中の成分付着、堆積、塩分の付着などにより変色が発生することがあります。黄銅の場合は特に、結露や腐食物質の影響を受けやすく、汚れやホコリなどの付着は変色の発生を早めることになります。

黄銅の場合にも、一度変色が発生してしまうと塗装があるために磨くことができませんので、元通りの外観にすることはできません。

錠前をいつまでも美しくお使いいただくためには、いずれの材質のものについても、サビが発生する前に定期的にお手入れを行っていただくことが肝心です。お手入れの方法については、通常は柔らかい布等で乾拭きする程度で十分ですが、汚れが目立つ場合には中性洗剤を使って汚れを落としてください。

錠前の主な
材質の特徴
と日常のお手
入れについて

清掃の頻度について

建物の置かれた環境や部位によって異なりますが、

- ①田園地帯 2～3回／年
- ②その他の地域 3～4回／年

が目安となります。

ただし、海岸地域で海塩粒子の飛来が多い地区、鉄道路線や鉄工所の近傍で鉄粉の飛来が多い地区、火山灰の降ることのある地域などでは、さらに清掃頻度を増やすことが望まれます。比較的緩い腐食環境においても、軒下など汚染物質がたまりやすい部位については、清掃回数を増やすことが必要となります。

また、黄銅製品はステンレスや、アルミ製品に比べて変色が発生しやすいので、さらに清掃頻度を増やす必要があります。

錠前のお手入れのお願い

錠前の表面材は主にステンレス、アルミニウム、黄銅などですが、サビにくいと言われるステンレスといえども、煤煙や塵、埃、泥などの汚れをつけたまま放置しますと、化学的・電気化学的の反応で表面が浸食されサビます。特に黄銅は容易に酸化され黒変しますので表面に保護膜が塗られており、それが変色を防いでいますが、表面を傷つけたり、汚れをつけたまま放置しますと、変色します。錠前をいつまでも美しくお使いいただくためには、定期的なお手入れが肝心です。やわらかい布で、汚れに応じて次のようなお手入れを行ってください。

汚れの程度によるお手入れの方法

水では落ちにくい汚れのお手入れ……………【1】【2】【3】を行ってください。
 風雨がかかった後のお手入れ……………【2】【3】を行ってください。
 軽い汚れのお手入れ(定期的な掃除)……………【3】を行ってください。



・錠の抜き差しをスムーズにするために当社製錠前潤滑剤をご使用ください。市販の合成潤滑剤はご使用にならないでください。

錠・シリンダーのお手入れのお願い

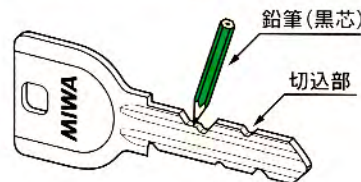
●錠穴には注油しないでください。油が埃を呼び動きを悪くします。



●錠穴の抜き差しがスムーズでない、または重い時。

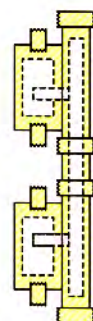
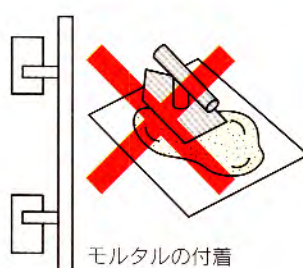
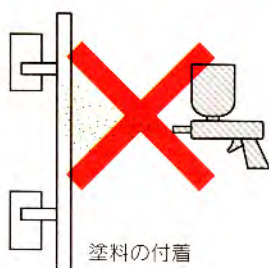
錠のすべての切込部を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、その錠を錠穴に挿入して数回抜き差しをしてください。錠の抜き差しがスムーズになります。また一度でスムーズにならない場合は同じ方法を繰り返してください。

錠の抜き差しがスムーズになりましたら、錠に付着している黒い粉を布等でふき取ってください。付着したまま使用されますと、衣服等を汚す場合があります。



工事店様へ 錠前の養生とお手入れのお願い

工事中に錠前の表面に傷をつけたり、塗料、モルタルなどを付着させますと、製品が腐食・変色します。工事中の取扱いと手入れを上手に行ない、お客様へ美しい状態でお引渡し下さい。



【工事中の養生例】

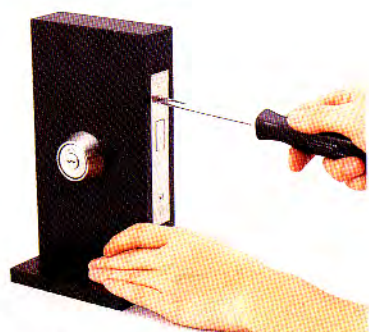
ビニールフィルムや梱包内材を利用して製品を覆う

紙テープ等でとめる

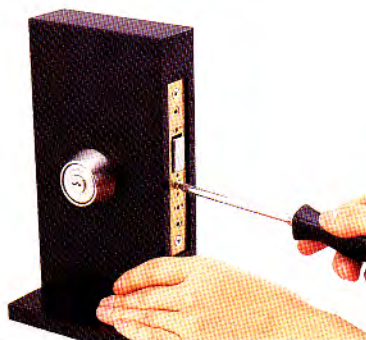
・養生前のお手入れは上記のお手入れの方法に従って行ってください。

代表的なシリンダーの交換方法

A. シリンダーをねじ込んで取り付けるタイプの錠の場合（BHシリーズ等）



1. フロントを外します。



2. シリンダー止めネジをゆるめます。



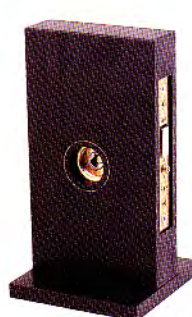
3. キーを差し込みます。（ディスクシリンダーの場合は不要）



4. キーを押さえながらシリンダーリングを持って左方向へ回します。



5. 回しきるとシリンダーが外れます。



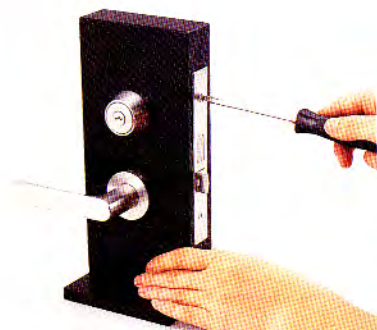
6. シリンダーを外した状態。
1～6を逆に行うとシリンダーを取り付けることができます。



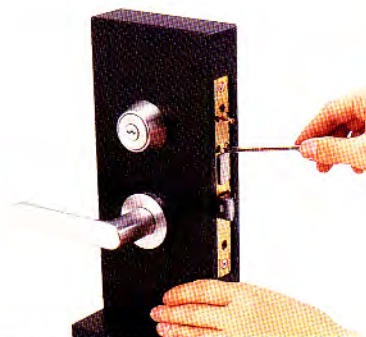
7. シリンダーをねじ込むときは一杯まで回しきり、写真のようにMIWAの刻印が上になる位置まで戻してください。この位置が正確でないとシリンダー止めネジが入りません。

代表的な
シリンダーの交換
方法

B. シリンダー止めピンで取り付けるタイプの錠の場合（LAシリーズ、LHシリーズ等）



1. フロントを外します。



2. シリンダー側のシリンダー止めピンを少し引き出します。なお上下のピンが一体化しているタイプもあります。（LHシリーズ等）



3. シリンダー止めピンを完全に引き抜きます。



4. シリンダーが外れます。



5. シリンダーを外した状態。
1～5を逆に行うとシリンダーを取り付けることができます。

シリンダー・ケースの互換表

DS=ディスクシリンダー

主型式	U9	DS	PX	EC	UR	UR-J	JN	シリンダー型式	サムターン型式	備 考
145HM (4型除く)	○	○	○	○	○		○	HM* -□・KB※	HM* -□・NB※	・URシリンダーはD、W、U型ノブのST、SB仕上のみの設定となります。 ・JNシリンダーはD、W、U型ノブのみの設定となります。
145HM-4 (注1)	○	●	○	○	○		○	145HM*-4・KB※	145HM*-4・NB※	
AFF (注1)	○	●	○	○	○		○	DA・CY	DA・TH	
AFFZ (注1)	○	●	○	○	○		○			
AH	○	○	○	○	○		○	BH・CY BHN・CY(DS、JN以外で φ38リングの場合)	AH・TH(φ38リング) または AH・TH44(φ44リング)	シリンダーがDS、JNの場合または、バックセットが34mm以下の場合はφ38リング。上記以外はφ44リングとなります。
AL3M (注1)	○	●	○	○	○		○	DA・CY	AL3M・TH	
ALA (注1)	○	●	○	○	○		○	DA・CY	DA・TH	
ALAZ	○	○	○	○	○					
ALME(P) (注1)	○	●	○	○	○			AL・CY	AL・TH	
ALR(A) (注1)	○	●	○	○	○					
ALRAE(P) (注1)	○	●	○	○	○					
ALRE(P) (注1)	○	●	○	○	○					
ALS	○	○	○	○	○		○			
ALT(A)	○	○	○	○	○		○			
ALTAE(P)	○	○	○	○	○		○			
ALTE(P)	○	○	○	○	○		○			
AMR(A)	○	○	○	○	○		○	MH・CY DS、PX、EC以外はDA・CY と同一	MH・TH	
AMRAE(P)	○	○	○	○	○		○			
AMRE(P)	○	○	○	○	○		○			
AMS	○	○	○	○	○		○			
AMT(A)	○	○	○	○	○		○			
AMTAE(P)	○	○	○	○	○		○			
AMTE(P)	○	○	○	○	○		○			
ANS (注1)	○	●	○	○	○		○	DA・CY	AL3M・TH	
ARA	○	○	○	○	○		○	ARA・CY	—	
BH(N) (注3)	○	○	○	○	○		○	BH・CY BHN・CY(DS、JN以外で φ38リングの場合)	BH・TH(φ38リング) または BH・TH44(φ44リング)	シリンダーがDS、JNの場合または、バックセットが34mm以下の場合はφ38リング。上記以外はφ44リングとなります。
BHE(P) (注3)	○	○	○	○	○		○	BH・CY		
BHNEP (注3)	○	○	○	○	○		○	BH・CY BHN・CY(DS、JN以外で φ38リングの場合)	BH・TH(φ38リング)	
DA	○	○	○	○	○		○	DA・CY	DA・TH	
DG	○	○	○	○	○		○	DG・CY	DG・TH	
DH (注1)	○	●	○	○	○		○	MH・CY DS、PX、EC以外はDA・CYと同一	DS用MH・TH DS以外MH・PXTH	
EL-K3290	○	○	○	○	○		○	EL-K3290・CY	EL-K3290・TH	
EL-K3300	○	○	○	○	○		○	EL-K3300・CY	EL-K3300・TH	
FC25	○	○	○	○	○		○	FC25・KRU※	—	※エスカチオンごと交換
FFZ (注1)	○	●	○	○	○		○	DA・CY	DA・TH	
FG	○	○	○	○	○		○			
FN	○	○	○	○	○		○	FN・CY	FN・TH	BH・CY(TH)は使用不可
GAA (注1)	○	●	○	○	○		○	GAA・CY	GAA・TH	
GT10	○	○	○	○	○		○	GT11・CY	GT11・TH	
GT10-BRH	○	○	○	○	○		○	GT-RH・CY	GT-BRH・TH	
GT10-H	○	○	○	○	○		○	BH・CY	BH・TH	
GT10-HRH	○	○	○	○	○		○	GT-RH・CY	—	
GT10-RH	○	○	○	○	○		○	GT-RH・CY	BH・TH	
GT40-2HRH2	○	○	○	○	○		○	GT41-2・CY	—	
GT41-1、GT42-1	○	○	○	○	○		○	GT41-1・CY	GT41-1・TH	
GT41-2、GT42-2	○	○	○	○	○		○	GT41-2・CY	—	
GT43RSH-1	○	○	○	○	○		○	GT43-1・CY	GT43-1・TH	
GT43RSH-2	○	○	○	○	○		○	GT41-2・CY	—	
GT50	○	○	○	○	○		○	DA・CY	DA・TH	
GTE50、ALG50	○	○	○	○	○		○	DA・CY	ALG51・TH	
HK	○	○	○	○	○		○	—※	—※	※セット交換品

●各シリーズ毎に、同じ記号(○・●・▲)で表示されている場合は同一のケースです。

シリンダー
・ケースの
互換表

主型式	U9	DS	PX	EC	UR	UR-J	JN	シリンダー型式	サムターン型式	備考
HM	○	○	○	○	○		○	HM* - □・KB※	HM* - □・NB※	・URシリンダーはD、W、U型ノブのST、SB仕上りのみの設定となります。 ・JNシリンダーはD、W、U型ノブのみの設定となります。 ※シリンダーのみの補修は不可、本体ごと交換
KS-110 (注6)	○	○			○			KS-110※		
KS-220 (注2, 6)	○	○	○	○	○		●	KS-221・CY		
KS-31, KS-41	○	○	○	○			○	KS-31・CY		
LA 丸座使用の場合 (注5)	○	○	○	○	○	○	○	DA・CY	DA・TH	
LA 長座使用の場合 (注5)	○	○	○	○	○	○	○	ELA# #・CY (# #は長座記号)	ELA# #・TH (# #は長座記号)	
LAT, LAL	○	○	○	○	○	○	○	DA・CY	—	
LAZ	○	○	○	○	○		○	DA・CY	DA・TH	
LHHF, MHHF	○						○	MHHF・CY	MHHF・TH	
LHHF-RM, MHHF-RM	○						○	MHHF-RM・CY	MHHF・TH	
LHS, LHT 丸座使用の場合 (注1, 4)	○	●	○	○	○	○	○	MH・CY DS, PX, EC以外はDA・CYと同一	DS用MH・TH DS以外MH・PXTH	
LHS, LHT 長座使用の場合 (注1, 4)	○	●	○	○			○	EMH・CY	DS用MH・TH	
LHSS 丸座使用の場合 (注4)	○		○	○	○	○	○	MH・CY DS, PX, EC以外はDA・CYと同一	MH・PXTH	
LHSS 長座使用の場合 (注4)	○		○	○			○	EMH・CY	EMH・PXTH	
MA	○	○	○	○			○	DA・CY	DA・TH	
MBH (注3)	○	○	○	○	○	○	○	BH・CY	BH・TH(φ38リング)または BH・TH44(φ44リング)	シリンダーがDS、JNの場合はφ38リング、上記以外はφ44リングとなります。
MC20	○							MC20・CY(非常用シリンダー) MC20・MCCY(カードシリンダー)	—	
MC25	○							MC20・CY(非常用シリンダー) MC25・MCCY(カードシリンダー)	—	
MCL	○							MCL-1・KRU※	—	※エスカプオンごと交換
MCT20	○							MCH・CY	MCT20・MCCY	
MHS, MHT 丸座使用の場合 (注1, 4)	○	●	○	○			○	MH・CY DS, PX, EC以外はDA・CYと同一	DS用MH・TH DS以外MH・PXTH	
MHS, MHT 長座使用の場合 (注1, 4)	○	●	○	○			○	EMH・CY	DS以外MH・PXTH	
MMH (注1)		●	○	○				MMH・CY	DS用MMH・TH PX用MMH・PXTH EC用MMH・ECTH	
MMHK	○							MMHK・CY	MMHK・TH	
MMS (注1)	○	●	○	○				MM・CY	DS用MM・TH DS以外MM・ECTH	
MMT (注1)	○	●	○	○						
NDR	○	○			○		○	NDR・CY	—	JNは取付板、ATライナー 特殊
NDR-AT2	○							NDR-AT2・CY	—	
OLT	○	○	○	○			○	AL・CY	AL・TH	
PMK (注2)	○	○			▲		○	PM・CY	—	67ディスクは専用ケース
POSTE-1	○	○						POSTE-1・CY	POSTE-1・TH	1型と2型でシリンダーが異なる
POSTE-2F	○	○						POSTE-2F・CY	—	
RA (注2)	○			●		○	○	RA・CY	—	
RR 丸座使用の場合 (注5)	○				○			DA・CY	DA・TH	
RR 長座使用の場合 (注5)	○				○			ELA# #・CY (# #は長座記号)	ELA# #・TH (# #は長座記号)	
SL77-1	○	○						SL77-1・CY	SL77-1・TH	1型と2型でシリンダーが異なる
SL77-2	○	○						SL77-2・CY	—	
SL80 (注3)	○	○	○	○	○	○	○	BH・CY	BH・TH(φ38リング)または BH・TH44(φ44リング)	シリンダーがDS、JNの場合はφ38リング、上記以外はφ44リングとなります。
TK4L	○							TK4L・CY	—	
TRF, TRT	○	○	○	○			○	TRF・CY	TRF・TH	
TRU-1	○	○					○	TRU-1・CY	TRU-1・TH	1型と2型でシリンダーが異なる
TRU-2	○	○					○	TRU-2・CY	—	
UD (注3)	○	○	○	○	○	○	○	BH・CY	BH・TH(φ38リング)または BH・TH44(φ44リング)	シリンダーがDS、JNの場合はφ38リング、上記以外はφ44リングとなります。
WLA 丸座使用の場合 (注5)	○	○	○	○	○	○	○	DA・CY	DA・TH	
WLA 長座使用の場合 (注5)	○	○	○	○	○	○	○	ELA# #・CY (# #は長座記号)	ELA# #・TH (# #は長座記号)	

●シリンダー交換の際の注意事項

共同住宅などで全居室のシリンダーを交換する場合、同時に共用部の逆マスターシリンダー(共通玄関や自転車置き場、ごみ置き場など)も交換することをお奨めします。

(注1) 一部の錠前は、ディスクシリンダーとそれ以外のシリンダーでケースが異なります。ディスクシリンダーから他のシリンダーに交換する場合、次に示す錠前はケースも一緒に交換となります。……145HM-4、AFF、AFFZ、AL3M、ALA、ALME(P)、ALR(A)、ALRAF(P)、ALRE(P)、ANS、DH、FFZ、GAA、LHS、LHT、MHS、MHT、MMI I、MMS、MMI

(注2) 次に示す錠前はシリンダー種類により専用ケースとなります。違う種類のシリンダーに交換する場合はケースも一緒に交換となる場合があります。

一覧表にシリンダーによるケース違いを示してありますのでご参照下さい。……KS-220、PMK、RA

(注3) 次に示す錠前のシリンダー交換を行う場合は、シリンダー種類やバックセットによりシリンダーリングの径が異なります。交換用シリンダーご発注の際、同時にバックセットもご指示いただくか、リングの径をご連絡下さい。……BH(N)、BHE(P)、BHNEP、MBH、SL80、UD

(注4) LHS、LHT、LHSSシリーズにて長座使用の場合、シリンダーの記号が丸座使用の場合と異なり、FLH-CYとなります。

(注5) LA、WLA、RRシリーズにて長座仕様の交換用シリンダーご発注の際には、ELA15-CYというように長座番号も含んだ記号でご発注下さい。(長座の厚みを加味した寸法のシリンダーが手配されます。)

(注6) 共用玄関に使用されるケーススイッチはKS-110シリーズとKS-220シリーズの2種類あります。それぞれ取付方法が異なり、互換性はありませんので、交換時には同品種で交換して下さい。

シリンダー
・ケースの
互換表

まえがき

この規格は、日本ロック工業会 (JLMA=The Japan Lock Manufacturers' Association) が制定した。

日本ロック工業会は、「錠全般の製造及びこれに関連する事業を営む法人」によって組織され、日本ロック工業会の事業の総合的な進歩発展を図り、もってわが国の繁栄と国民生活向上、そして安全社会の構築に貢献することを目的とする。

序文

この規格は、日本に在る「錠全般の製造及びこれに関連する事業を営む法人」が加盟する日本ロック工業会 (JLMA=The Japan Lock Manufacturers' Association) が制定した錠機能を統一記号化した規定である。

1.適用範囲

この規格は、建築金物の開口部の戸に用いる錠の機能を通行区分と施錠方法によって表示する錠機能記号に適用する。

2.引用規格

つぎに掲げる規格は、この規格が引用されることによって、この規格の一部を構成する。これらの規格の引用は、その最新版を適用する。

JLMA A2001-2 建築金物一錠、第2部：錠の要求性能

JLMA A2003 錠用語

JIS A 1510-1 建築用ドア金物の試験方法/第1部：錠

3.定義

この規格に用いる主な用語の定義は、JLMA A2003 錠用語による。

4.機能記号の構成

機能記号は、次の項目で構成する。

- 1 通行区分
表-1、表-2
- 2 施錠方法
表-3
- 3 錠の形状
表-4
- 4 記号の表記方法
表-5、表-6、表-7、表-8
- 5 錠機能の種類
表-9、表-10

5.通行区分

通行区分とは、錠の施錠・解錠状態で扉の両側からどのような操作で開扉できるかを示すものである。操作方法(内容)を記号化し、その記号の組合せにより可能な通行区分をつくる。

操作を示す記号は、表-1に示す。

表-1 操作を示す記号

記号	操作の内容
◎	キーなしで、ラッチ及びデッドボルトを操作し開扉できる
×	開扉する手段がない
N	錠の機能をしていない状態のもの
E	非常開で解錠し、その後開扉できる
K	キーで解錠し、その後開扉できる
△	扉の内外の解錠操作の後、開扉できる

通行区分を、24通りに分類し、表-2に示す。

表-2 通行区分による分類

通行区分	施錠状態		解錠状態	用途例
	1	2		
01			○ ○	通路
02	○ ×		N	多目的・ビル用トイレ
03	○ E		N	病院用トイレ
04	○ K		N	ビル出入口
05	K K		N	公共出入口
06	× K		N	点検口・物置
07	○ ×			一方通行扉
08	○ ×		○ ○	間仕切
09	○ E		○ ○	トイレ・浴室
10	○ K			ホテル客室
11	○ K		○ ○	事務所・学校教室・玄関
12	K K	○ K		銀行通用口
13	K K	○ K	○ ○	銀行通用口に準ずる
14	× K	○ K		機械室
15	× K	○ K	○ ○	多目的（機械室に準ずる）
16	K K			監獄通路
17	K K		○ ○	玄関・事務所出入口
18	× K			監禁扉
19	× K		○ ○	倉庫・テラス
20	× K		× ○	一方通行扉（施錠が必要な場合）
21	△ △		○ ○	コネクティング扉
22	K K	○KorK○	○ ○	コネクティング扉
23	○ ×	○ K	○ ○	寮玄関
24	○ K		○○ or N	教室・病院

日本ロック工業会規格

6.施錠方法

施錠方法とは、施錠の主体となる方法。施錠方法を記号（番号）にする。
施錠方法を6通りに分類し、表-3に示す。

表ー3 施錠方法による分類

0	施錠不可
1	キー及びサムターン等で施錠
2	自動施錠可能
3	常時自動施錠
4	自動施錠＋デッドボルト
5	常時自動施錠＋デッドボルト

日本
ロック
工業会
規格

7.錠の形状

錠の形状を、取付けの形式により区別し記号にする。
錠の形状を9通りに分類し、表-4に示す。

表ー4 錠の形状

箱錠	インテグラル錠	円筒錠	チューブラ錠	面付錠	引戸錠	引違戸錠	ガラス扉錠	面付引戸錠	グレモン錠
C	I	B	T	R	H	S	G	M	A

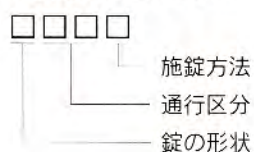
注釈) 引戸錠……………引戸の戸先部分に取付ける錠
引違戸錠……………引戸召し合わせ部分に取付ける錠
ガラス扉錠……………強化ガラス扉の上下のフレームに取付ける錠
グレモン錠……………ハンドル操作により、最低2ヶ所以上のロッド(又はデッドボルト)をエアタイトの目的で出し入れする錠

8.記号の表記方法

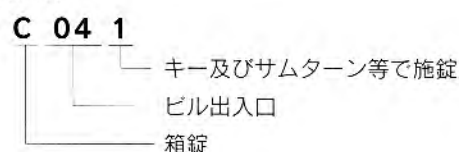
錠の機能と通行区分を指示する場合は、以下の表記をする。

表-2、表-3、表-4を用いて次のように表す。

1) 機能記号の基本型



記入例



2) システム端末機の機能記号

(1) 電気錠……Eで表す。

□ □ □ □-E①②

①は電気的機能を示す。

表-5 ①部に示す記号

1	通電時施錠型
2	通電時解錠型
3	瞬時通電施解錠型
4	瞬時通電解錠型
5	モーター式施解錠型

②は信号を示す。

表-6 ②部に示す記号

1	扉の開閉信号と錠の施解錠信号
2	錠の施解錠信号
3	閉扉かつ施錠信号

(3) 枠付電気錠……ESTで表す。

□ □ □ □-EST①②

①、②は電気錠と同じ。

3) 非常錠……Pで表す。

□ □ □ □-P①

表-8 ①部に示す記号

1	キーを用いず、屋内から開放動作で解錠し、かつ、開放できる非常専用錠 ※1
2	キーを用いず、一の動作で容易に解錠できる非常専用錠 ※2
3	キーを用いず、一の動作で容易に解錠できる錠 ※3

※1 ワンタッチタイプ ※2 非常解錠装置付 ※3 ノブやサムターンの樹脂カバー付

日本ロック工業会規格

9.錠機能の種類

通行区分と施錠方法の組合せで、次のような錠機能の種類が可能になる。

錠機能の種類を表-9、表-10に○印で示す。

表-9 開き扉用錠

		施錠方法					
		0	1	2	3	4	5
通行区分	01	○	—	—	—	—	—
	02	—	○	○	—	—	—
	03	—	○	—	—	—	—
	04	—	○	○	—	—	—
	05	—	○	○	—	—	—
	06	—	○	○	—	—	—
	07	—	—	—	○	—	○
	08	—	○	○	—	○	—
	09	—	○	○	—	—	—
	10	—	—	—	○	—	○
	11	—	○	○	—	○	—
	12	—	—	—	○	—	○
	13	—	—	—	—	○	—
	14	—	—	—	—	—	○
	15	—	—	—	—	○	—
	16	—	—	—	○	—	○
	17	—	○	○	—	—	—
	18	—	—	—	○	—	○
	19	—	○	○	—	—	—
	20	—	○	—	○	—	○
	21	—	○	—	—	—	—
	22	—	○	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	○	—
	24	—	○	○	—	—	—

表-10 引戸・引違い戸用錠

		施錠方法					
		0	1	2	3	4	5
通行区分	01	○	—	—	—	—	—
	02	—	●	—	—	—	—
	03	—	●	—	—	—	—
	04	—	●	—	—	○	—
	05	—	●	—	—	—	—
	06	—	●	—	—	—	—
	07	—	—	—	○	—	—
	08	—	○	○	—	—	—
	09	—	○	○	—	—	—
	10	—	—	—	○	—	—
	11	—	○	○	—	—	—
	16	—	—	—	○	—	—
	17	—	○	—	—	—	—
	18	—	—	—	○	—	—
	19	—	○	—	—	—	—
	20	—	○	—	○	—	—


















引違い錠は●のみ

解説

1.表示図の解説

錠を構成する各部品の機能を、次のシンボルマークで表示する。

表-11

表示図	名称	説明
	シリンダー	棒鍵及び引戸錠の押込み回転操作、ネジ締りタイプ可変シリンダー等シリンダー機構のもの全てを含む
	シリンダー	ラッチボルトを下げられるシリンダー
	シリンダー	ラッチボルトをホールドするシリンダー
	シリンダー	解錠のみのシリンダーで、キーを抜いても施錠状態にならない
	シリンダー	シャットアウト装置付シリンダー
	サムターン	引戸錠のスライドツマミ、プッシュボタンを含む
	サムターン	ラッチボルトを下げられるサムターン
	非常解装置	
	表示	施解錠表示(在室表示を含む)
	ハンドル	ノブ、レバーハンドル、サムラッチハンドル、ケースハンドル等含む
	ハンドル	常時固定又は、空転するハンドル
	ハンドル	シリンダー付ハンドル
	ハンドル	押ボタン付ハンドル
	ハンドル	ユニバーサルボタン付ハンドル
	ハンドル	サムターン付ハンドル
	ハンドル	施錠操作する側(□の開いた側)が固定するハンドル
	ハンドル	相手側の施錠操作(□の開いた側)で固定するハンドル
	ハンドル	内・外いずれかの側からの施錠操作でも、固定するハンドル
	ハンドル	□の開いた方にあるストップボタン又は専用工具で固定するハンドル

日本
ロック
工業会
規格

日本ロック工業会規格

日本
ロック
工業会
規格

表示図	名称	説明
	ハンドル	扉が閉まると固定するハンドル
	ハンドル	ラッチボルトとデッドボルトを同時に下げられるハンドル
	ハンドル	デッドボルトを出し入れできるハンドル
	ラッチボルト	
	ラッチボルト	閉扉動作によるハンドルの施錠状態が解除 (閉め出し防止装置付)されるラッチボルト
	デッドロッキングラッチ	
	デッドロッキングラッチ	係止可能なデッドロッキングラッチ
	デッドロッキングラッチ	キー又はサムターン操作した時、閉扉中一時的に係止されるラッチボルト
	フックボルト	引戸用、鎌
	フックボルト	引違い戸、引寄せる鎌も含む
	フックラッチ	引戸用、常時フックラッチは動く
	フックラッチ	引戸用、施錠時フックラッチは固定
	デッドロッキングフックラッチ	引戸用、自動フック(トリガー付)
	クレセント式フックボルト	引違い戸
	栓	引違い戸(栓錠、ネジ締め錠を含む)
	デッドボルト	
	スプリットデッドボルト	内・外より独立して操作されるデッドボルト
	ストップボタン	フロントに付いている施錠装置 ノブの中に付いているタイプも有る

2.機能記号の略図及び機能説明

部品毎の表示図の組合せで完全組立品の機能を知ることができる。

下記に一例を示す。表-11を参照。

箱錠

区分	略図 室内 室外	機能記号	閉扉自 動施錠	施錠操作		解錠操作	
				室内側	室外側	室内側	室外側
13 KK ○K ○○		C134	可能	シリンダー ストップ ボタン	シリンダー ストップ ボタン	シリンダー ストップ ボタン	シリンダー ストップ ボタン

機能説明

この錠は、両面シリンダー（ラッチ操作ができる）/デッドボルト/ラッチボルト（デッドロッキングラッチ）/両面ハンドル（下にあるストップボタンで片側が固定される）付の箱錠である。

解錠時は、室内外両側のハンドルでラッチボルトを操作すれば開扉できる。ストップボタンで施錠機構を操作すると、室外側のハンドルは固定し、ハンドルで開扉することができない。この時、閉扉すると自動施錠が可能になる。両側のシリンダーでラッチボルト・デッドボルトを操作して開扉することができる。

引戸

区分	略図 室内 室外	機能記号	閉扉自 動施錠	施錠操作		解錠操作	
				室内側	室外側	室内側	室外側
11 ○K ↓ ○○		H112	可能	サムターン	シリンダー	サムターン	シリンダー

機能説明

この錠は、シリンダー・サムターン（仮締り機能付）/両面ハンドル（室内外いずれからの操作でも固定されるハンドル）/フックボルト付の引戸錠（鎌錠）である。

解錠時は、両側のハンドルでフックラッチを操作し開扉できる。シリンダー・サムターンで施錠機構を操作すると、両側のハンドルは固定し、ハンドルで開扉できない。閉扉すると自動施錠可能になる。

引違戸錠

区分	略図 室内 室外	機能記号	閉扉自 動施錠	施錠操作		解錠操作	
				室内側	室外側	室内側	室外側
04 ○K ↓ N		S041		サムターン	シリンダー	サムターン	シリンダー

機能説明

この錠は、シリンダー・サムターン/フックボルト付の引違戸錠である。

解錠時は、自由に開扉できる。施錠機構シリンダー/サムターン操作するとフックボルトにより施錠する。

日本ロック工業会規格

JLMA 記号と当社製品の対応表

錠種 機能	A									B		C							
010										HK-0	LL-0(KJ)	LO	LOF	OM	OPJ	HM-0	F01		
021	GT50-3	ALG50-3	ALGT50-3	ALGR50-3	GT10-3	GTE50-3	ALGE50-3	ALGTE50-3	ALGRE50-3			DA-3	BH-3	BHN-3	DG-3	BHE-3	BHEP-3	AL3M-3	
022												AHS-3	AHB-3						
031												DA-6	DA-8						
041	GT50-1	ALG50-1	ALGT50-1	ALGR50-1	GT10-1	GT40-1	GTE50-1	ALGE50-1	ALGTE50-1	ALGRE50-1		DA-1	BH-1	BHN-1	DG-1	BHE-1	BHEP-1	BHNEP-1	
042												AHS-1	AHB-1	LAT-2A					
051	GT50-4	ALG50-4	ALGT50-4	ALGR50-4	GT10-4	GTE50-4(E)	ALGE50-4(E)	ALGTE50-4(E)	ALGRE50-4(E)			DA-4	BH-4	BHN-4	DG-4	BHE-4	BHEP-4	BHNEP-4	
052												AHS-4							
061	GT50-2	ALG50-2	ALGT50-2	ALGR50-2	GT10-2	GT40-2	GTE50-2	ALGE50-2	ALGTE50-2	ALGRE50-2		DA-2	BH-2	BHN-2	DG-2	BHE-2	BHEP-2	BHNEP-2	
062												AHS-2							
073												AHT-3	ALR-3	AMT-3	ALT-3	AMR-3	AUT-3		
075																			
081										HK-3		LHS-3	MMS-3	OLT-3	MA-3	LA-3	AMS-3	ALS-3	
082																			
084																			
091										HK-6		LA-6	LA-8	BM	MHS-6	MHS-8	LHS-6	LHS-8	
092										LL-6(KJ)		LP-6	LP-8	OM-6					
103										HK-2A	HKH	AHT-1	F07	ALR-1	AMT-1	AMTA-2	AMR-1	AMRA-2	
105												MHT-1A	MHHF	LHT-1A	LHHF	MMT-1A	U9MMHK	MMH	
111										HK-2		MHS-1	LHS-1	MMS-1	MA-1	LA-1	AMS-1	ALS-1	
112										HK-1		OLT-1	F04						
114												MHT-1	LHT-1	MMT-1	F08	F10	F20		
123																			
125												MHT-4A	LHT-4A						
134												MHT-4	LHT-4	MMT-4					
145												MHT-2A	LHT-2A	MMT-2A					
154												MHT-2	LHT-2						
163												OLT-4A	AHT-4	ALR-4	AMT-4	AMR-4	ALT-4	OLT-4A	
165																			
171										HK-4		MHS-4	LHS-4	MMS-4	OLT-4	MA-4	LA-4	AMS-4	
172																			
183												AHT-2	ALR-2	AMT-2	AMR-2	ALT-2	AUT-2		
185																			
191												MHS-2	LHS-2	MMS-2	OLT-2	MA-2	LA-2	AMS-2	
192																			
201										HK-2B									
203																			
205																			
211																			
221																			
234												F11	F12						
241																			
242																			

日本
ロック
工業会
規格

C					G	H			I			R				S		T	錠種 機能	
	BHNEP-3					TR※-3	SL80-0 FG-3	SL77-3	UD-3				NDR-3	SB-10			SL99-3	SL12S(T)-3	CF※-0	010
							FG-8	UD-8					SBE-01							021
							FG-1	SL77-1	UD-1				NDR-1				SL99-1	SL12S(T)-1		022
	BH-1M	AL3M-1	F17			TR※-1	FG-1	SL77-1	UD-1											031
																				041
	GLH	AL3M-4	AHB-4	F16		TR※-4	FG-4	UD-4												042
																				051
																				052
	AL3M-2	AHB-2	F18			TR※-2	FG-2	SL77-2	UD-2				NDR-2				SL99-2	SL12S(T)-2		061
																				062
																				073
																				075
	ALA-3	MHS-3	AUS-3				SL80-3			HM-3	145HM-3	HM-7								081
																				082
																				084
	MA-6	MA-8	F02	F19	(F22)		SL80-6	SL80-8		HM-8										091
																			CF※-6	092
	ALT-1	ALTA-2	ALRA-2	AUT-1																103
	F15																			105
	ALA-1	(F05)	F13	F21	AUS-1		SL80-1			HM-1	145HM-1	HM-1M	RAHPC	RAB	PMK	ARAHPC				111
																				112
																				114
																				123
																				125
																				134
																				145
																				154
	AUT-4																			163
																				165
	ALS-4	ALA-4	F14	AUS-4			SL80-4			HM-4	145HM-4									171
																				172
																				183
																				185
	ALS-2	ALA-2	AUS-2				SL80-2			HM-2	145HM-2									191
																				192
																				201
																				203
																				205
																				211
																				221
																				234
																				241
																				242

日本
ロック
工業会
規格

CP 認定錠の防犯性能

(財) 全国防犯協会連合会 (全防連) は優良な住宅用開き扉錠に対しての防犯性能の基準を設け、その基準に基づいて性能試験を実施しています。この性能試験をクリアした錠前は全防連から優良住宅用開き扉錠の型式認定を受け、全防連の発行するCPマークを貼ることが許されています。この錠前をCP認定錠といい、耐ピッキング性能の認定を受けたシリンダーをCP-C認定シリンダーといいます。

防犯性能の基準

(1) 基本的性能

ア かぎ違い

次の条件を満たすこと。

(ア) 6以上のタンブラーを有すること。

(イ) 5,000以上の適切な実用かぎ違いを有すること。

イ かんぬきの出寸法

かんぬきの先端と面板の間隔は、施錠の状態において、次の表に掲げる長さ以上であること。

種類	長さ
彫込錠	20mm
面付錠	13mm

ウ 施解錠の耐久性

かぎを用いて行う施解錠を10万回繰り返すことによって、錠(又はシリンダー)の機能に異常が生じないこと。

この場合において、回数は、かぎの差込み、施錠、解錠及びかぎの拔出しをもって1回とする。

(2) 耐破壊性能

ア かんぬきの押込強度

かんぬきは、施錠の状態において、別図1で示すようにその先端の中心部に次の表に掲げる荷重をかけることによって、荷重開始前の面板の位置から8mm以下の位置まで押し込まれないこと。

種類	荷重
彫込錠	10,000N
面付錠	3,000N

イ かんぬきの側圧強度

施錠の状態において、別図2で示すように面板から3mmの位置のかんぬきの中心部に次の表に掲げる荷重をかけることによって、施錠の効果が失われないこと。

種類		荷重
彫込錠		6,000N
面付錠	外開きとびら専用	3,000N
	その他	6,000N

ウ 耐破壊行為強度

錠について専門的知識を有する者が行う破壊行為によって、容易に開扉される状態にならないこと。

(3) 耐ピッキング性能

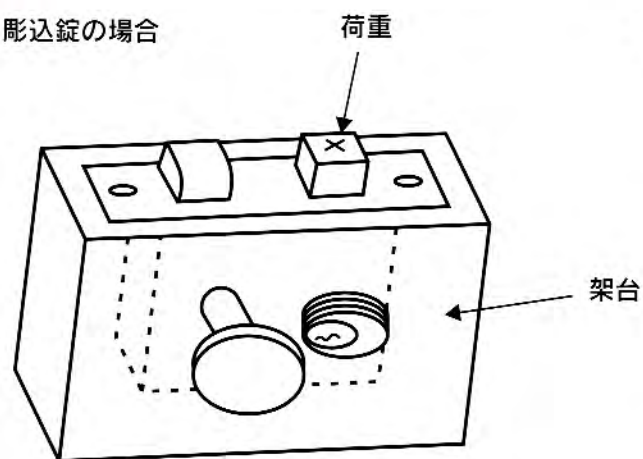
錠について専門的知識を有する者が行うピッキングによって、容易に解錠しないこと。

(4) その他

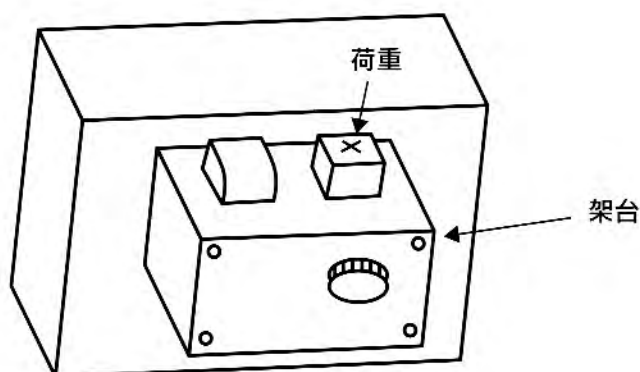
前3号に規定するもののほか、防犯上支障がないこと。

別図1

● 彫込錠の場合



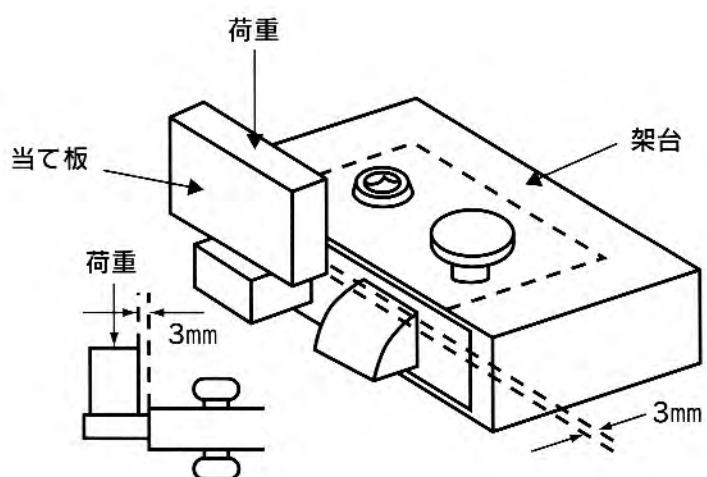
● 面付錠の場合



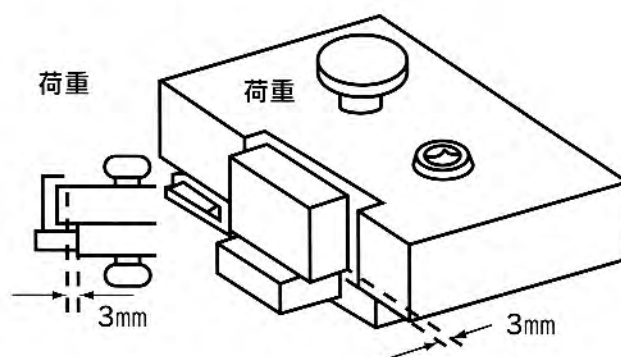
(注) 彫込錠、面付錠とも、ノブおよびシリンダー（ノブを有しないものにあつてはシリンダー）を取り付けた状態で荷重をかけるものとする。

別図2

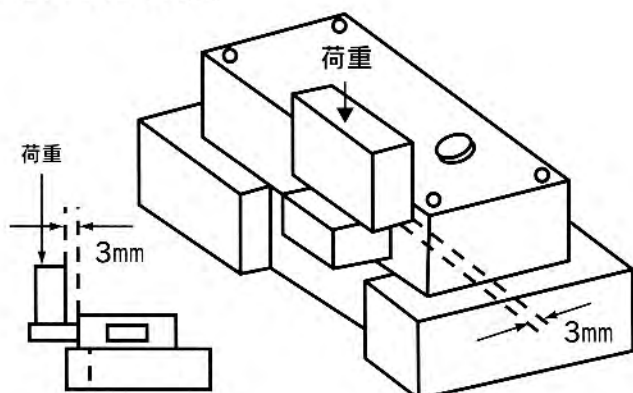
● 彫込錠の場合



● 面付錠（外開きとびら専用）の場合



● 面付錠（その他）の場合



(注) 彫込錠、面付錠とも、ノブおよびシリンダー（ノブを有しないものにあつてはシリンダー）を取り付けた状態で荷重をかけるものとする。

CP
認定錠
の防犯
性能

廃止製品一覧

廃止
製品
一覧

廃止製品名	廃止時期	代替製品	代替製品記載ページ
AFFS	1999年3月末	AFFZ	652
ALAS	1999年3月末	ALAZ	649
ALB	1997年3月末	AL3M	639
ALG20	1998年3月末	ALG50	640
ALGR20	1998年3月末	ALGR50	642
ALK	1997年9月末	ALR	635
ALX	2000年3月末		
ARHT	1997年6月末		
ASH	2000年3月末	AST	645
BAN-H2LA	1995年10月末	BAN-IS2	664
BAN-IS2A/2B	1998年7月末	BAN-IS2	664
BAN-KS1B	1999年1月末	BAN-715S	667
BAN-LS	1999年1月末	BAN-AS	662
BAN-Q2LA	1995年10月末	BAN-IS2	664
BAN-RS	1999年3月末	BAN-AS	662
BAN-TS1	1995年6月末	BAN-ES1,BAN-715S	666,667
BAN-WS	1997年3月末	BAN-AS	657
BAN-XS1	1997年5月末	BAN-ES1	666
BCL-001	1996年7月末		
ECSL79	2001年3月末	SL99	466
FF	2000年3月末	FG	462
FPU-002	2000年5月末		
FPU-002・Jソフト	2000年5月末		
GHM*40-1(万葉)	2001年3月末		
GIGA(12,13,14,16型ハンドル)	2001年3月末		
GIGA(B10,F10シリーズ)	2001年3月末		
GIGA(D11シリーズ)	2001年3月末		
GIGA(H10シリーズ)	2001年3月末		
GIGA(L11380)	2001年3月末		
GIGA(P10シリーズ)	2001年3月末		
GIGA(R10,R11シリーズ)	2001年3月末		
GIGA(S10シリーズ)	2001年3月末		
GIGA(T11,T13シリーズ)	2001年3月末		
GT20	1998年3月末	GT50	356
GT30	1998年3月末	GT50	356
GTE20	1998年3月末	GTE50	366
HMJ	2000年3月末	LAJ	194
ICC-002	1999年5月末		
IFBOX	1999年3月末		
INTERFACE(01,02,04,51,54型ハンドル)	2001年3月末		
KMS-002	1998年12月末	NTU-002,NTU-003	676
KN13B(かえで)	2001年3月末		
KN14B(けやき)	2001年3月末		
KN15B(きり)	2001年3月末		
KS-10	1997年3月末	KS-110	700
KS-20	1997年6月末	KS-220	700
LA-1G	1999年3月末	LA2Z	650
LAZ	2002年3月末	LA2Z	650

廃止製品名	廃止時期	代替製品	代替製品記載ページ
LHH	2000年3月末	LHHF	192
LHSS	2001年3月末	LA2Z,FFZ	650,653
LTK11	2000年3月末		
M800	1999年3月末	M600	782
MCU-001	2000年2月末	MSU-201	683
MFC-1	2001年3月末		
MFS-1	2001年3月末		
MHH	2000年3月末	MHHF	268
MP	1997年5月末		
MWL-230,350	2000年3月末	MWL-250N,-350N	874
NTC-001	1997年3月末	NTU-001	676
NTC-002	1997年5月末	NTC-003	675
PCP62	1997年4月末		
RT30	1997年4月末		
SL60	2001年3月末	SL99	466
SL75	2001年3月末	SL12	467
SLS	1997年12月末	PBシリーズ	495
T-3110	1996年7月末	TKU-002	668
TD*23B-1(美濃)	2001年3月末		
TD*24B-1(吉備)	2001年3月末		
TEC3	1997年3月末		
TEC10	1997年3月末		
TECS-6CCBL	1999年3月末		
TEFS-6CC	1999年3月末		
THM*30B-1(楓)	2001年3月末		
THM*35B-1(樺)	2001年3月末		
THM*36B-1(桐)	2001年3月末		
THM*37PB-1(榆)	2001年3月末		
TK3L	1998年6月末	TK4L	562
TK-001	2000年3月末	TKU-002	668
TK-002	2000年3月末	TKU-002	668
TKU-001	1996年6月末	TKU-002	668
TMAT52-1(嵯峨野)	2001年3月末		
TPMK82B(平安)	2001年3月末		
TPMK83B(天平)	2001年3月末		
TRAHPC95B(蔵王)	2001年3月末		
TRAHPC96B(天城)	2001年3月末		
U9MMH*-RM	2000年3月末	MHHF*-RM	268
バランサー(DE,DEB,SE,SEB)	1999年3月末		

お願い

- 廃止後の修理等は代替製品にて対応ください。
 - 補修対応期間は下記の通りです。
 - 1) 標準製品……………製品廃止後10年間*
 - 2) キー(鍵)……………シリンダー廃止後30年間
- ※電気錠システム製品(電装部品を使用している製品)は製造廃止後7年間

専用カタログのご案内

美和ロックの製品を詳しく紹介した専用カタログをご案内します。

下記のカatalogをご希望の方はお気軽に美和ロック本社・支店・営業所までご請求ください。



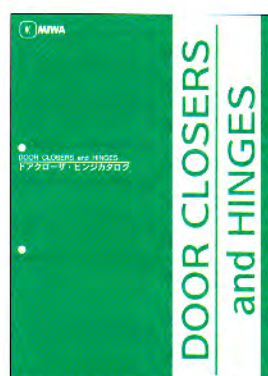
製品カタログ (ダイジェスト版)

総合カタログに掲載の製品をダイジェスト版としてまとめました。



システム端末機カタログ

総合カタログに掲載の電気錠システム編を別冊にしました。



ドアクローザ・ヒンジカタログ

総合カタログに掲載のドアクローザ・ヒンジ編を別冊にしました。



切込外観図集

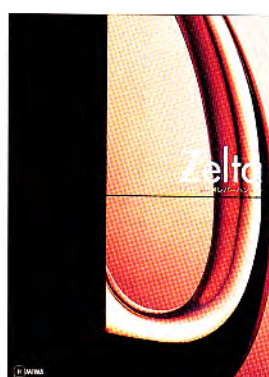
総合カタログに記載の錠前編の切込外観図を別冊にしました。

専用カ
タログの
ご案内



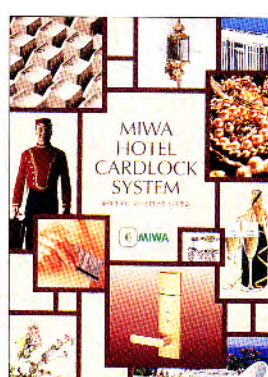
レバーハンドルカタログ

当社の標準レバーハンドルをすべて掲載しています。



Zelta

洗練されたデザインに加え、高級感のある表面仕上を採用した、操作の容易な住宅内
部扉専用錠を掲載しています。



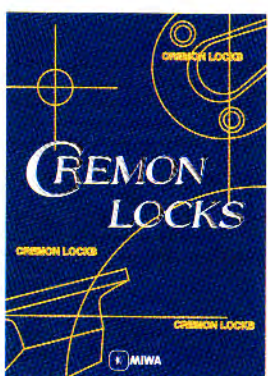
美和ホテルカードロックシステム

防犯・防災性に加えて利便性を兼ね備えた
ホテルカードロックシステムを提案してい
ます。



C70

住宅一件に使われる金物を、玄関錠から家
具の取手までコーディネートできるC70シ
リーズ。



グレモン錠カタログ

当社のグレモン錠をすべて掲載しています。



MIWA SDI SIGN SYSTEM

サイン計画の施工実例を紹介しています。



サインSDI-A/Bシリーズ

環境空間において、情報を知らせるサイン
計画を紹介しています。

自動施錠錠の選定方法

用途例	機能				把手	適合錠	備考	頁
	ダブルロック	シャットアウト	アンチパニック	ラッチホールド				
住宅玄関	×	×	×	○ *1	×	AHB	電気ストライクとの組み合わせが可能	324
集合住宅・寮等の出入口	×	×	×	○ *2	レバーハンドル	TK4LT	ランダムテンキーとの組み合わせ	562
	×	×	×	○ *2	×	AHS	電気ストライクとの組み合わせが可能	324
	×	×	×	×	×	AHT	電気ストライクとの組み合わせが可能	324
門扉	×	×	×	○ *2	×	AHS	電気ストライクとの組み合わせが可能	324
	×	×	×	×	×	AHT	電気ストライクとの組み合わせが可能	324
事務室・玄関	×	×	×	×	レバーハンドル ノブ	OLT	電気錠ALシリーズと同一切欠	278
通用口	×	×	×	○ *2	レバーハンドル	LAT		196
	○	×	×	×	レバーハンドル	LHT	電気錠AMシリーズと同一切欠	190
	○	×	○	×	レバーハンドル	LHTA	電気錠AMシリーズと同一切欠	190
	○	×	×	×	ノブ	MHT	電気錠AMシリーズと同一切欠	266
	○	×	○	×	ノブ	MHTA	電気錠AMシリーズと同一切欠	266
一方通行扉	×	×	×	○ *2	レバーハンドル	LAT		196
	○	×	×	×	レバーハンドル	LHT	電気錠AMシリーズと同一切欠	190
	○	×	○	×	レバーハンドル	LHTA	電気錠AMシリーズと同一切欠	190
	○	×	×	×	ノブ	MHT	電気錠AMシリーズと同一切欠	266
	○	×	○	×	ノブ	MHTA	電気錠AMシリーズと同一切欠	266
	○	×	×	×	ノブ	MMT		272
通用階段口	×	×	×	○ *1	レバーハンドル	LAL	電気ストライクとの組み合わせが可能	196
共通出入口	×	×	×	○ *1	レバーハンドル	LAL	電気ストライクとの組み合わせが可能	196
ホテル客室	○	○	○	×	レバーハンドル	LHHF	室外側からシリンダー交換できるタイプもあり (U9・PXのみ)	192
	○	○	○	×	ノブ	MHHF	室外側からシリンダー交換できるタイプもあり (U9・PXのみ)	268
	○	×	×	×	ノブ	MMT		272
	○	○	×	×	ノブ	U9MMHK		274
	○	○	○	×	ノブ	U9MMHKA		274
	○	○	×	×	ノブ	MMH		274
	○	○	○	×	ノブ	MMHA		274

*1 キー・サムターン操作

*2 フロントのラッチストップネジ

自動施錠錠
の選定方法

